

検討会論点と第 1 回検討会の主な意見

議題 I 評価手法について

論点①

- 労働政策審議会安全衛生分科会に示した仕組みのイメージは妥当なものか。
→意見①：企業の自己評価が真実のものかどうかを確認・担保する方法を
考える必要がある。また、実地検査も必要ではないか。
- 評価、認定は企業単位で行うので良いか。それとも他の方法が考えられるか。
→意見②：インセンティブの付与は企業単位となると考えられるので、企
業単位で認定するか、事業場単位で認定するかは、インセンティブとの
関係で考えるべきではないか。
→意見③：事業場ごとにレベルの違いが大きいことがあるので、事業場単
位を選べる余地があれば望ましい。
→意見④：導入しやすい製造業から始めるという考え方もある。

論点②

- 評価指標としてどのようなものが考えられるか。
→意見⑤：評価項目は、中災防の仕組みのように、必須項目と選択項目に
して、組織としての取組に着目した評価にするのがよいのではないか。
→意見⑥：既存の評価制度や認証制度を活用することも考えられないか。
- 評価指標は、業種によって異なったものとするべきか、それとも統一的なものとするべきか。
→意見⑦：健康分野については、業種の違いなく、共通の指標とすべきで
はないか。
- 優良な取組を評価する指標と、取組結果に関する指標（労働災害の発生状況
など）は、分けて考えるべきか。

論点③

- 評価指標ごとに、どのように評価するべきか（○×評価、取組度合いについ
ての段階的評価など）。
- 基準を満たしていることをどのように確認するか。
- 評価基準は業種別や、企業規模別に変えるべきか。

○どの程度基準を満たした企業を優良企業として認めるべきか。

論点④

- 優良企業の認定の取消要件をどうすべきか。
- 優良企業としての認定期間についてどう考えるか。

議題Ⅱ 標章（優良マーク）について

- 優良企業に付与する標章（優良マーク）はどのようなデザインがよいか（一般公募で募集してはどうか）。
- 標章（優良マーク）の使用方法としてどの範囲まで許容するか。
- 標章（優良マーク）の不正使用をどのように防止するか。

議題Ⅲ 企業に対するインセンティブについて

- 評価を受けようとする企業に対してどのようなインセンティブが考えられるか。
- 直接的なメリットがなくてもこの制度を普及させる工夫はあるか。
→意見⑧：認定を受けるための負担に比べて、インセンティブが弱いと、
制度を作っても使われないので、バランスを考える必要がある。